

日本住を快適空間!

ダンネット通信

2011.Spring vol.72

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目9-17 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

東日本大震災の影響に関するお知らせ

この度の東日本大震災では東北・関東を中心に各地で大きな被害が生じており、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々とそのご家族・ご親戚・ご友人等のみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

弊社では東北・関東の従業員とご家族の安否確認、被害状況の把握等を進めた結果、現時点でこの震災による影響と見通しについて、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 従業員とご家族の被害状況

幸い従業員につきましては、ご家族を含め被害はありませんでした。

2. 各事業所の被害と今後の見通し

関東各支店および仙台事務所につきましては、書類や事務用品の落下・転倒などがありました。大きな被害はなく、安全確認を行ったうえで順次営業を再開しました。ただ、北海道内の営業拠点も含め、メーカー様の工場の被災や物流の停滞、計画停電などにより、ブローイングの原綿や断熱材など工事に使用する材料の供給見通しが不透明な状況にあります。この点につきましては、メーカー様とも協議のうえ、改めてご案内させていただきます。

3. 業績に関する影響

今回の震災による直接的な影響は軽微ですが、当面の国内需要動向が不透明であり、業績への影響は現時点で不明です。重要な状況変化があり次第、改めてお知らせ致します。

以上

特集

東日本大震災で住宅業界への影響は？

いまだに被害の全容がつかめないほどの大きな災害となった東日本大震災。被災した地域はもちろんのこと、被災していない地域も被災地の工場の損壊や物流の停滞、計画停電の影響などによって経済活動に支障をきたしていることが多く報道されています。特に住宅業界にとっては住設建材の品不足やユーザーの消費マインド低下などといった影響が出始めている様子。今回は東日本大震災がもたらす住宅業界への影響についてまとめてみました（記事中の情報は4月8日時点のものです）。

住設建材の品不足が深刻に

今回の震災の影響の中でも深刻なのが住設建材の品不足です。被害が大きかった東北・北関東沿岸部には合板や断熱材、水回り設備を始めとするいくつかのメーカーの工場・倉庫があるため、工場の損壊や倉庫の製品破損による生産・出荷停止に追い込まれたメーカーは少なくありませんでした。また、港湾や鉄道、道路などの輸送網が寸断された地域では、納期が大幅に遅れたりすることもあったようです。

さらに被災地では応急仮設住宅の建設も本格化。被災地の必要戸数を合計すると6万戸以上となり、その分の住設建材が優先して供給されることが考えられるため、「エンドユーザーと契約しても引き渡し日をいつにすればいいかわからない」という工務店様もいらっしやいます。

このような状況の中、国土交通省や経済産業省など4省庁では、住宅建材の需給状況の緊急調査を実施しました。

それによると、特に品不足が深刻と言われている構造用合板については、一部の工場の被災により、震災前より生産量は3割程度減少しましたが、被災していない工場のフル生産により、今月以降は震災前の生産量を確保できる見込みです。

また、断熱材は工場の被災や計画停電の影響で、生産量はグラスウールが3割程度、押出法ポリスチレンフォームが5割程度の減少となりましたが、グラスウールは被災した一部工場の操業再開や輸入拡大（今月から4,000 t以上/月）によって今月下旬からは平時の供給量が確保され、さらに他の被災工場の再開により5月以降は昨年以上の供給量が確保できる見込み。押出法ポリスチレンフォームも計画停電によって生産量の変動はあるものの、今月中には震災前の9割程度まで回復することが見込まれています。

このほかキッチンやユニットバス、洗面化粧台、サッシ、複層ガラス、窯業系外装材も順次震災前の生産量が概ね確保される見込みとなっています。



今回の震災は東北沿岸部を中心に大きな被害をもたらし、住宅だけでなく住設建材メーカーの工場などにも損害を与えている（岩手県陸前高田市。他の写真も同じ）



津波を免れた住宅も屋根瓦が破損していることがある。いつ修復できるのか、見通しは全く立たない



仮設住宅の資材も供給量が追いつかないという

重複発注で“仮需”発生も

生産量の調査と同時に主要建材流通業者に対して震災前後の流通量の状況も調査したところ、合板、パーティクルボード、グラスウールの注文が増加しているとのこと。納期が不確定なため、一業者が同じ建材等の発注を複数の建材問屋にかけることで見かけ上の需要量だけ増えているという“仮需”が発生しているとの回答もあったといいます。

調査を行った4省庁によると、仮設住宅で使用する分の建材等は確保できそうで、一般の住宅についても震災後の混乱が収まるにつれ、必要量が確保できるようになると見えています。

ただ、予断を許さない状況であるとしており、今後もこの調査を継続するかどうかは、現時点で未定ですが、当面の間は動向を注視したいとしています。

ユーザーへの説明責任や配慮も重要

住設建材の品不足では、着工の遅れや工期の延長、さらには受注契約そのものができないといった問題も出てくると考えられそうです。また、それらの問題によって年後半の着工集中、資金繰り、ユーザーからのクレームといった2次的な問題が出てくる可能性も想定されます。

着工の遅れや工期の延長は、住宅会社にとってそれだけ資金回収が遅れることにつながりますので、そうなる資金繰りをどうするかという対策を考えておくことも必要になりますし、着工・引き渡し・契約がどんどんずれ込んで年後半に現場が集中することになったら、現場ごとの工程の調整や大工の手配などは、よりタイトになりそうです。

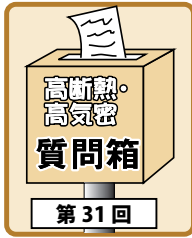
特に現在施工中またはこれから着工するエンドユーザーに対しては、資材が入らないから工事が進まないという状況を回避するために、どれだけ努力したかが信頼関係を保つカギになるでしょうし、今のうちからできる限りの説明責任を果たすことも非常に重要だと考えられるでしょう。

もっとも、それ以上に心配なのが消費マインドの落ち込みです。世間一般に自粛ムードが漂っているだけに親類や友人・知人が被災したというエンドユーザーは相当数いるはず。また、公務員や警察・消防関係、J R関係などのエンドユーザーは被災地の応援などで家づくりを進められないという話も聞こえてきます。

施工中および着工前のエンドユーザーや商談中のエンドユーザーに対する配慮が、今後とても重要になりそうです。

国土交通省など4省庁による住宅建設資材に係る需給状況の緊急調査結果（3月24～31日実施。一部抜粋）

品目	調査時点の供給状態	今後の供給見込み
構造用合板	工場の被災により、震災前と比較して生産量は3割程度減。	被災していない全国の生産工場でフル生産体制を敷くことにより、4月以降は震災前の生産量を確保できる見込み。
パーティクルボード	工場の被災、電力不足及び原材料不足により、震災前と比較して生産量は2割程度減。	計画停電と原材料調達の動向によるが、被災した工場の一部は5月頃に操業が再開可能であり、生産量は震災前の9割程度まで回復する見込み。
MDF	工場の被災により、震災前と比較して生産量は2割程度減。	被災工場以外の工場における生産増強により、5月頃には震災前の生産量が確保できる見込み。
グラスウール	工場の被災や計画停電の影響により、震災前と比較して生産量は3割程度減。	被災した一部の工場の操業再開や輸入の拡大（4月から4,000t/月以上）により、4月下旬からは平時の供給量が確保できる見込み。他の被災工場の操業再開により、さらに5月以降は昨年以上の供給量が確保できる見込み。
ロックウール	震災による影響は無し。	震災前の生産量を維持。
押出ポリスチレンフォーム	工場の被災と計画停電により、震災前と比較して生産量は5割程度減。	計画停電により生産量の変動はあるが、4月中には震災前の9割程度まで回復する見込み。
窯業系外装材	工場の被災と原料調達困難により、震災前と比較して生産量は3.5割程度減。	一部被災工場の操業再開、さらに、計画停電の要素を除けば全国の工場でフル生産体制を敷くことにより不足分をカバーし震災前の生産量を確保できる見込み。
複層ガラス	工場の被災、原料調達困難により、震災前と比較して生産量は1割程度減。	工場の操業再開等により、4月中旬以降は震災前の生産量を確保できる見込み。
鋼材	住宅建設資材向けの鋼材は、仮設住宅等の需要増により、震災前と比較して増産。	復興需要増に応じて更なる増産を見込む。
キッチン・洗面化粧台	工場の被災により、震災前と比較して生産量が一時的に落ち込んだが、大半の工場が生産を再開。	計画停電の影響はあるものの、順次震災前の生産量が確保される見込み。
ユニットバス	一部部品の供給不足により生産が一時的に落ち込んだが、部品供給の目処が立ち、生産力は回復。	計画停電の影響はあるものの、順次震災前の生産量が確保される見込み。
給湯設備機器	一部部品の供給不足により生産量減。	部品調達の動向によるが、必要性の高いものから順次供給される見込み。



LED照明はどんな製品を選ばいい？

Q…今年新築するお客様からLED照明を使いたいという要望がありました。製品の選択や施工を行ううえで注意点は

はあるのでしょうか？

A…LED照明は、低い消費電力で従来の照明と同等の明るさが得られ、小形・軽量で寿命が長いことから、住宅の省エネ性向上につながる事が期待されています。

ただし、LED自体の寿命は半永久的でも、熱に弱く、80℃になると劣化し始めて寿命が縮まるとも言われています。ですので、製品を選ぶ時にはカタログやホームページで定格寿命とともに、できれば熱対策がどのように行われているかも調べておくといいでしょう。

また、設計・施工時には密閉箇所や断熱材で囲まれた箇所など熱がこもりやすい場所、暖房機やボイラーなど発熱するものに近い場所は避け、LED照明同士もなるべく近づけないといったことを頭に入れておきたいものです。さらに電球形の



ユーティリティーに付けた電球形のLED照明。少ない消費電力で十分な明るさが得られる

製品では、水がかりのある場所や高湿になる場所に使用できないものもあるので、注意が必要です。

最近では様々なメーカーの市場参入が相次いだことにより、価格低下が進んだ半面、メーカーごとに品質の差が見られるようになってきたという声も聞きます。例えば、交流を直流に変換する時に電磁波を発生し、テレビやラジオにノイズが入るといった問題がある製品も見受けられるそうです。あるメーカーの担当者はデジカメの液晶モニターで見た時にパチパチ明滅していたり、点灯していないように見える製品は注意したほうがいいと話しています。

●編集●後●記●

▲東日本大震災で被災されたみなさま、並びにみなさまとつながりのある方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く東北・関東の被災地が復興し、以前と変わらぬ暮らしが送れるようになることを願ってやみません。(野村)

▲東日本大震災で岩手県陸前高田市の病院からヘリで救出された方は、「上から見たら悪夢のような光景だった」と言います。二度とこのような悪夢が起らないよう、国と自治体にはさらなる防災強化をお願いしたいものです。(水越)



株式会社ダンネット

ホームページURL <http://www.dan-net-su.co.jp/>
E-mailアドレス info@dan-net-su.co.jp

「快適な住まいづくり」はお任せ下さい！

●ブローイング工事各種 ●外断熱工事 ●気密工事
●ウレタン吹付工事 ●断熱建材製造販売 ●住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和 5 条 4 丁目 9-17	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町 8 線西 2 号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町 5 1 4 番地 1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下 2127 番地 4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■外断熱事業部	〒003-0869 札幌市白石区川下 2127 番地 4	TEL(011)875-3969 FAX(011)875-3971
■ウレタン事業部札幌事務所	〒003-0869 札幌市白石区川下 2127 番地 4	TEL(011)875-3972 FAX(011)875-3974
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和 5 条 4 丁目 9-17	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西 20 条北 2 丁目 27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木 5 丁目 15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町 174 番地 16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉 1 丁目 27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町 16 番 2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町 362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土 4 丁目 2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒310-0841 茨城県水戸市酒門町西割 4312-3	TEL(029)248-6761 FAX(029)248-6762
■ウレタン事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木 301 番地	TEL(048)458-1455 FAX(048)456-3877
■仙台事務所	〒983-0037 宮城県仙台市宮城野区平成 2-18-38	TEL(090)1378-5494 FAX(048)783-1667
■ダンネット信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀 5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016